令和８年度　小金井ボランティア・市民活動センター

運営委員会（第１回）　議事録

1. 日　　時 ： 令和８年７月29日（水） 18:30～20:04
2. 会　　場 ： 社会福祉協議会２階会議室
3. 出 席 者 ： 運営委員（13人）

　　山路　憲夫　委員長　　川畑　美和子　副委員長
　　加藤　弘子　　尾崎　康子　　益子　徹　　竹村　雅裕
　　森田　真希　　益田　智史　　松嶋　有香　　榎本　朝美
　　濱松　俊彦　　香川　博孝　　伊藤　崇

　事務局（５人）

　　中谷　行男　副会長兼常務理事　　石塚　勝敏　事務局長
　　小早川　良信　地域福祉係長　　八下田　友恵　主事
　　角田　美涼　主事

　市民協働支援センター準備室

　　北脇　理恵　市民協働推進員

4. 欠 席 者 ： なし
5. 傍 聴 人 ： なし
6. 配付資料 ：
   1）令和８年度小金井ボランティア・市民活動センター運営委員会（第１回）次第
   2）小金井ボランティア・市民活動センター令和７年度事業報告書
   3）令和８年度さくらファンド募集開始（チラシ）・令和８年度さくらファンド申請団体（一覧）
   4）小金井市ボランティア・市民活動センター令和８年度事業進捗状況
   5）小金井市民協働支援センター準備室の活動状況
   6）2026年度　区市町村ボランティア・市民活動センター運営委員およびセンター長等合同会議　開催要項
   7）第11期小金井ボランティア・市民活動支援センター運営委員名簿
   8）ボランティア・市民活動センターの相談一覧
   9）ぼらんてぃあこがねい令和８年４月号、５月号、６月号、７月号
   10）チラシ「若者支援講座」

11）チラシ「夏のボランティア体験」

7. 議　　題 ：

1）委員長、副委員長の互選

2）令和 7 年度事業報告について

3）令和 8 年度さくらファンドの審査について

4）令和 8 年度事業進捗状況について

5）市民協働支援センター準備室の活動状況について

6）その他

8. 議　　事 ：

《開会》

小早川地域福祉係長が、令和 8 年度第 1 回小金井ボランティア・市民活動センター運営委員会の開会を告げ、傍聴人の有無を確認し、議題を確認した。

議題 1　委員長、副委員長の互選

事務局

みなさん、こんばんは。定刻になりましたので、令和 8 年度小金井ボランティア・市民活動センター運営委員会を始めさせていただきたいと思います。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

最初に、皆さんの机上に、委嘱状を用意させていただいております。今年の 3 月 31 日で委員の任期が切れております。交付については、これに代えさせていただきたいと思います。

次に、お手元の資料を確認していきたいと思います。本日の次第がありまして、めくっていただくと、議題２が２枚、続いて右上に議題３という資料。その次が令和８年度さくらファンド申請団体の表になりまっております。議題４は、A3になっている資料が１枚、議題５は資料が１枚です。最後、その他ですが、その他のところに議題６となっています。そこが２枚です。また、後ろに運営委員の名簿が入っております。ボランティア市民活動センターの相談一覧も入っておりますが、こちらにつきましては回収させていただきたいと思いますので、机の上に置いておいていただきたいと思います。また、広報誌「ぼらんてぃぁこがねい」が４月号から７月号まで、と、若者支援講座のカラーのチラシが１枚、現在既に開催中の、夏のボランティア体験のチラシでございます。最後に、拡大センター長会議が９月にあります。カラーのお知らせが机に置いてあります。不足等ありましたら事務局の方まで言っていただければと思いますが、過不足はないでしょうか。

続きまして、本日の委員会です。委員定数13人のところ、出席が13人全員です。現在森田委員がまだいらしてないのですが、いずれにしましてもボランティア・市民活動センターの設置及び運営に関する規程の第６条第６項の規程の半数以上を満たしておりますので、本委員会は成立していることをご報告申し上げます。再任の方も多くおられますが、新たな任期になっての最初の委員会ということもありますので、委員長が選任されるまでは私の方で進行させていただいておりますのでご了承ください。

初めに事務局の紹介を致します。中谷副会長兼常務理事から順番に、一言ずつお願い致します。

事務局

小金井社協の副会長兼常務理事をしております中谷と申します。皆様どうぞよろしくお願い致します。

事務局

事務局長の石塚と申します。どうぞよろしくお願い致します。

事務局

ボランティアセンター職員の八下田と申します。どうぞよろしくお願い致します。

事務局

同じくボランティアセンター職員の角田と申します。よろしくお願い致します。

センター準備室

市民協働支援センター準備室の北脇と申します。よろしくお願い致します。

事務局

地域福祉係長の小早川と申します。どうぞよろしくお願い致します。次に、簡単に各委員から一言ずつ自己紹介をお願いしたいと思います。順番は川畑委員の方から時計回りでお願いします。

川畑委員

貫井北町２丁目の松風会の副会長、自主防災会の会長をしております川畑と申します。どうぞよろしくお願い致します。

竹村委員

竹村と申します。よろしくお願いします。小金井にご縁がなくなっているのに未だにここに参加しておりますが、お隣の小平市にあります児童養護施設二葉むさしが丘学園というところの運営をしている社会福祉法人二葉保育園で今現在は人事総務のような仕事をしております。よろしくお願い致します。

益子委員

初めまして。東京都立大学で障害学生支援を担当しております益子と申します。今期からということになりますが、よろしくお願いします。元々２年ぐらい前まで花小金井に住んでいたのと、このあたりで地域のヘルパーをやっていたことはあるのですが、残念ながらこの辺には住んでいないということになりますが、よろしくお願いします。色々教えていただくことが多いかと思いますが、よろしくお願いします。

益田委員

益田と申します。よろしくお願いします。企業団体等関係者ということで、私は小金井商工会より来ている者であります。商いとしては小さなステーキ屋を営んでおります。よろしくお願い致します。

尾崎委員

小金井市民生委員協議会北部地区の会長をしております尾崎と申します。よろしくお願い致します。

加藤委員

社協の理事を務めさせていただいていますので、その枠からこちらに参加させていただいております。日頃は障害福祉サービスの方の事業をやっております社会福祉法人小金井さくら会の理事を務めております。どうぞよろしくお願い致します。

榎本委員

東京ボランティア・市民活動センターからきました榎本と申します。どうぞよろしくお願いします。

松嶋委員

福祉のことは色々しておりまして、主に高次脳機能障害と失語症の関係で小金井のいちごえ会という当事者団体がありますので、そこの会員として色々手伝ったりしています。あとは南中学校でボランティアを助ける仕事とか、本当にたくさん色々な仕事をしているのですが、本業は国語の先生です。あと、バンドギタリストでもあります。この間、八下田さんがライブに来てくださって応援してくださいました。皆さんもしハードロックに興味がありましたらよろしくお願いします。

濱松委員

教育委員会生涯学習課長の濱松と申します。どうぞよろしくお願い致します。

伊藤委員

小金井市役所コミュニティ文化課長の伊藤と申します。どうぞよろしくお願い致します。

香川委員

小金井市地域福祉課長の香川と申します。よろしくお願い致します。

山路委員

小平市の白梅学園大学で社会保障と社会福祉の教員をしておりましたが、リタイアした後、今、小平市の社会福祉法人のつむぎという障害者支援の社会福祉法人の理事長をしております山路と申します。よろしくお願い致します。

事務局

ありがとうございました。それでは早速、議題に入らせていただきます。議題１になります。委員長、副院長の互選についてですが、規程第７条第３項第１項の規程により、委員長一人、副委員長一人を互選することと定められております。互選の方法についてご意見を賜ります。

川畑委員

指名推薦でお願いしたいと思います。

事務局

只今、指名推薦とのご意見をいただきました。特にご意見がなければ指名推薦と致しますが、いかがでしょうか。

《異議なし》

特に異議がないようですので、指名推薦とさせていただきます。どなたかご推薦いただけますでしょうか。

川畑委員

前期も委員長をしていただきました山路委員にお願いしたいと思います。

事務局

はい、只今、山路委員を委員長に推薦いただきましたが、いかがでしょうか。特に異議がないようですので、委員長は山路委員にお願いいたします。委員長が選任されましたので、委員長就任に当たり、一言、山路委員長、お願い致します。

《以下、「山路委員」を「委員長」とする。》

委員長

それでは改めまして、引き続き委員長に選任いただきました山路でございます。様々な課題があると思いますが、関係者は本当に色々な議論を積み重ねて、それなりにきちんと運営してきただろうと思います。今後とも、改めまして、よろしくお願い致します。

事務局

ありがとうございます。

それでは次に副委員長の選任を行います。いかがいたしましょうか。

榎本委員

委員長が決まりましたので、委員長から推薦いただけますでしょうか。

委員長

はい、それでは分かりました。私の方からは引き続き川畑委員に副委員長をお願いしたいと思いますが、いかがでございましょうか。

《異議なし》

委員長

よろしいですか。はい、よろしくお願い致します。

《以下、「川畑委員」を「副委員長」とする。》

副委員長

それでは、委員長のご指名でございますので、前期に引き続き副委員長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

委員長

それでは会議に入らせていただきます。本日の議題は以下の通りです。1 番目に令和 7 年度事業報告について、2 番目に令和 8 年度さくらファンドの審査について、3 番目に令和 8 年度事業の進捗状況について、4 番目に市民協働支援センター準備室の活動状況等について、その他ということで、以上の議題を審議したいと思います。

会議は公開とし、傍聴を認めます。よろしくお願い致します。傍聴の方、どなたかいらっしゃいますか。

事務局

特にございません。

議題 2　令和 7 年度事業報告について

委員長

はい、それでは議題 2　令和 7 年度事業報告について事務局よりお願い致します。

事務局

はい、議題２の令和７年度事業報告について、進めたいと思います。お手元の資料、右上に議題２とあります令和７年度事業報告書をご確認ください。令和７年度事業報告書の資料に沿って要点を説明させていただきます。

ふれあい・いきいきサロン助成事業。登録団体数が45団体ありまして、助成金の申請は31団体ございました。助成総額は855，000円で、こちらを１年間の助成金として31団体に配布しております。サロンの連絡会として、令和８年３月26日に連絡会を実施いたしました。続きまして、ふれあい・いきいきサロンの月別活動状況です。45団体のうち、毎月、何団体が活動して、活動の人数が何人かというものです。年間で活動人数は、延べ人数ですが、16，223人の方がサロン活動を実施されております。こちらは社協の方で傷害保険をかけております。

次に参ります。さくらファンドの助成金についてです。令和７年５月に募集を開始しまして、29団体の申請がございました。７月７日に事前審査会をし、７月30日、昨年の第１回運営委員会において審査を行い決定し、８月に26団体へ総合計100万円の交付としております。令和８年３月にこちらの助成金の報告書をいただいております。次に参ります。

保険の受付業務をボランティアセンターの窓口で行っております。ボランテイア保険と行事保険の申込数を下の表で表示しております。ボランティア保険の方は279件、人数でいうと2,011人。行事保険の方は481件で人数は12，273人の窓口の申し込みがございました。

裏面に参ります。ボランティア活動室の運営です。ボランティア活動室は社協の２階で行っている活動室のことです。こちらで皆さん２階でご覧いただいたかもしれませんが、手芸品を販売しております。ボランティアの作った手芸品の売り上げが年間で60，870円ございました。こちらの活動室でミニ講座も実施しております。昨年の７月16日に布ぞうり講習会を実施しています。また、小金井福祉マルシェにも出店し手芸品の販売を実施しています。11月の売上金額が高いのはこの福祉マルシェに出店しているからです。また、手芸のほかに古切手ボランティアもいらっしゃいまして、こちらは切手をきれいに四隅を切って寄付していただいています。青梅市の盲養護老人ホーム聖明園と、タンザニアポレポレクラブに切手の寄付をしております。

続きまして、ボランティア・市民活動センターの相談の年間内訳です。電話やメール、あとは窓口来所等で相談に来ている件数です。内容は以下のように、ボランティ

ア希望、ボランティア依頼（個人）、ボランティア依頼（施設・団体）、あとは助成金の相談、福祉教育、備品貸し出し、寄付、その他となっております。右の四角の枠の中、年間件数は 197 件、やり取りした相談延べ件数が 404 件となっております。

一番下の福祉教育事業についてです。昨年度は 5 カ所の小中学校から依頼がございました。内容は以下の通りです。車椅子体験や白杖の視覚障害疑似体験、高齢者キット貸出など、あとは街歩き体験を車椅子ユーザーの方と一緒にしました。

次のページ、3 ページ目をご覧ください。音楽療法講座。こちらは小金井市の地域福祉課より委託されております事業で、療法的音楽ボランティア養成講座、全 4 回を実施しております。自主団体が2団体立ち上がり、高齢者施設でボランティア活動中です。

次の精神保健福祉ボランティア養成講座。こちらは小金井市の自立生活支援課からの補助金の事業です。こちらも全4回の講座で受講者が29名です。ボランティア活動につながっている参加者もいらっしゃいます。

次のディスレクシア啓発事業。こちらは令和7年でこちらの事業は3年実施しましたのでいったん終了とし、令和8年度、今年度は発達障害啓発事業を予定しております。

次の若者支援事業です。こちら、令和8年3月に全3回講座を実施いたしました。後ほどパワーポイントでご説明したいと思っております。

次の夏のボランティア体験。昨年の夏に例年通り実施いたしました。事前ガイダンスを行い、体験期間を子どもたちの夏休みに設定し、市内の受け入れ施設は34施設ございました。88名の参加がありました。8月25日に参加者と受け入れ施設の方にお集まりいただきまして、振り返りの会を実施しました。

次、団体交流会、小金井福祉マルシェは合わせて9月、11月にそれぞれ実施したところです。

最後の災害ボランティアミーティングは令和8年3月に実施しております。こちらもあとでパワーポイントでご説明申し上げます。

その他災害関係でも市内のイベント等に出店し、ネットワークづくりに取り組みました。

令和 7 年度の事業報告は簡単ですが以上となります。

委員長

どうもありがとうございました。只今の令和 7 年度の事業報告について何かご質問ご意見ございましたら、いただきたいと思います。いかがでございましょうか。それでは特にないようですから、これに対する質疑はとりあえず終了致します。

議題 3　令和 8 年度さくらファンドの審査について

委員長

つづきまして、議題 3、令和 8 年度のさくらファンドの審査について事務局よりお願い致します。

事務局

事務局よりご説明申し上げます。配付資料の右上、議題 3 と記載のある「さくらファンド募集開始」のチラシをご覧ください。さくらファンドの概要をご説明申し上げます。さくらファンドは自立した市民社会の創造に向けて、幅広い分野の市民活動を応援することを目的とした助成事業です。小金井市内で活動する市民活動団体（任意団体、NPO 法人、一般社団法人非営利徹底型）を対象として、対象事業が福祉、環境、国際協力、まちづくり、教育等の公益活動になるものに対して 1 団体につき上限 10 万円までの助成をする事業です。申請期間は今年の 5 月 1 日から 5 月 29 日としました。こちらの期間に 29 団体の申請がありまして、次のページのさくらファンド申請団体の表をご覧ください。こちら表面左上にナンバーが振ってありまして、裏面が 29 の NAGOMI にほんごくらぶで終わっております。29 団体の申請がありました。1 番目のフルーツパフェの横に見ていっていただきたいのですが、対象事業の目的、助成金の目的、団体の目的はこちらで、助成金の内訳が次の四角の枠で、申請団体からの申請額が 8 万円ということです。29 団体の申請額の合計額が 2,095,536 円になっておりましたので、この表の申請額の横に申請額の 48 パーセ

ントを掛けた大体の数字という意味で 48 パーセント掛けたものを記載しております。また次の四角の枠に連続申請回数を書いております。チラシにもありますように、同内容での同一事業の申請は連続 3 回までという注釈がついております。その連続申請回数の横が前年度の査定額。前年度に助成金申請があった団体は査定額を記入しています。その横に査定額と書いてあるのですが、こちらは今回の委員会前に前年度委員長の山路委員、前年度副委員長の川畑委員、あと東京ボランティアセンターの榎本委員の 3 名に事前審査をしていただきまして行った査定額です。本日はこの査定額を基に皆様に審査をしていただきたいと思っております。フルーツパフェの今回の事前審査の査定額はこちらの表で 50，000 円という意味です。

私の方から 0 円になっている団体の説明を申し上げたいと思います。2 番目の聞いてきいての会が 30，000 円の申請がありましたが、0 円査定になっております。こちらの理由は、聞いてきいての会の申請書の中で収支報告書があるのですが、繰越金が多くあったため事前審査会で査定額はゼロとなりました。5 番目の和（やまと）福祉会も査定額ゼロと書いてございますが、助成金の内訳が、字が小さくて申し訳ないのですが、リコーのコンパクトデジタルカメラを購入したいので助成金をお願いしますという内容でしたので、事前審査の場で 3 人の委員から目的と内容が今回の助成金の趣旨に合っていないのではないかということで 0 円査定となっております。また、裏面の 23 番、親子広場、こちらも 0 円査定となっておりますが、こちらは同一内容で 4 回目の申請となっておりましたので、募集案内に基づきまして同一事業の連続申請は 3 回ということで、そちらを理由に 0 円とさせていただいております。事務局からの説明は以上になります。

委員長

はい、ありがとうございました。今、事務局から説明がありましたように、一応事前審査ということで、川畑副委員長と東ボラの榎本委員と事務局と私とで取り合えずの査定額を決めさせていただいたのですが、これはあくまでも案ですので、改めましてこれより審査に入ります。これについて皆さん方からのご発言をお願いしたいと思います。これをご覧いただきましていかがでございましょうか。この点はどうだというご質問ご意見があればいただきたいと思います。

19 番の浴恩館の会で、決定理由で実施可能性の確認をするというのをですね、も

し開催不可ならゼロということで審査させていただいたのですが、これはどうなりましたか。

事務局

はい、事前審査の場で、市内の浴恩館公園で琵琶の演奏をするということの講師料の申請だったので、公園で夜の時間にやるというのが実現可能かどうかということが事前審査で意見が出ましたので、事務局の方で浴恩館の会に確認したところ、許可が下りて、教育委員会の後援もとっているということでしたので、実現の可能性あるということで。

委員長

はい、分かりました。それでは、この案通り 20，000 円ということで提案させていただくということでございますね。

事務局

はい。あと、すみません、説明が漏れてしまいましたが、連続申請回数が 6 回目、5 回目という団体、4 回目、3 回目以上の団体があるのですが、こちらは同一事業の申請は 3 回までなのですが、団体としては 6 回目ですが、事業内容が違ったため助成金の申請を受け付けたという意味で、6 回目とか 5 回目とか、4 回目と書いてあるものになっております。説明の補足、以上です。

委員長

いかがでしょうか。はい、どうぞ。

松嶋委員

私、不登校の支援員もやっているもので、ちょっと興味あるのですけれども、26 番

のみんなの居場所なのですが、不登校児のための学校外での居場所づくりなのですけれども、これが備考欄、決定理由のところに「申請後１ヶ月経って現在どこまで進んでいるか？実施しているか？」というふうにメモ書きがあるので、これの経緯をお知らせ願いたいのと、あと今年度から小金井では校内教育支援センターというのが始まりまして、全校９月から一斉に、元々始まっている学校もあるのですけれども、学校の中で不登校の生徒の居場所を作ろう、作るという話が校長会で出まして、ほぼ全部の学校で始まっていると思うのですけれども、そうするとこの居場所、みんなの居場所の意義というのが、ちょっと怪しいって言葉があれなんですけれども、いらなくなるような感じになるように見受けられますけど、その点いかがでしょうか。

委員長

それでは事務局お願いします。

事務局

はい、ご質問ありがとうございます。26 番のみんなの居場所ですが、新しい団体で、今回申請を初めていただいています。元々代表の方が市内の小学校で不登校児や、教室に行けない児童のために居場所づくりを月曜日から金曜日までの午前中も午後もやっていらした方です。今、松嶋委員からご説明があったように、４月から全校に不登校児のための居場所が市の方でできているので、今までやっていた方が追い出されたという形になって、代表の方はボランティアでもいいから残りたいというご希望があったそうなのですけれども、体制が変わって、今まで自分たちがやっていた場所で同じことができなくなったので、学校外に出て、学校にも行けないような子どもたちのための居場所づくりをしたいということで、今回申請をいただいています。申請後１ヶ月経って、どこまで進んでいますかという確認をしたところ、まだ実施には至っていないけれども、場所を借りる契約をして、進めていますということでしたので、査定額をつけたままで今回の資料に反映させております。そんな説明で伝わりましたでしょうか。

松嶋委員

はい、色々考えなくてはいけない問題をたくさんはらんでいると思いますが、それで、追い出されるところもある中で、行政の方も動き出してくれればいいかなと思います。

事務局

そうですね。ご本人はそういう言い方をしていたのですけれども、行政の方でしっかりそういう制度が立ち上がって、今までボランティアでやっていた保護者たちが違う場所でやるということで、子どもにとって多くの選択肢があるということが良いことかなと思っております。以上です。

委員長

よろしいでしょうか。濱松委員、教育委員会から来られています、担当は違うので、濱松委員は生涯学習課長ですから、この点は別に特に今の点について言及いただくことはありませんね。

濱松委員

そうですね。委員長がおっしゃるとおり、担当が違うので明確なことは申し訳ないですが難しいと思いますけれども、ただ最後におっしゃっていた通り、不登校の子が社会教育施設、図書館であるとか公民館にいるっていう事例は聞いたことがあります。小金井に限らず、そういったところで登校支援をしている自治体もあるということを聞いたことがありますので、先ほどおっしゃった通り、不登校の子にとって選択肢が多いということは子どもたちにとって望ましい環境だと思うので、私個人的な意見としては特段問題はないのかなと感じているところでございます。以上です。

委員長

ありがとうございました。ほかに何かご意見ご質問ございますでしょうか。はい、どうぞ。

竹村委員

はい、委員の竹村です。審査の直接的な中身というよりは別の質問になってしまうかもしれないのですが、今年度、結構審査が、昨年度の件数、応募件数が何件だったか全く記憶がない中で恐縮なのですけれども、割と多いなという印象があるのですけれども、その中で申請額に対しての査定額というところで、割と申請額よりは少なく支給になるっていうところがある中で、そこの団体が自主財源をしっかり持っていて、例えば、この額で審査が下りたときに、実際にその事業を本当に運営が逆にできないみたいなところの団体が例年あるのかどうかも含めて、そういった逆に可能性ってあるのかどうかっていうところが 1 点と、あと長年私も参加してて記憶があって恐縮なのですが、このさくらファンドに採択された団体の活動の報告はいつも出していただいていると思うのですが、僕も運営委員の中で本当にそういった活動がどんな感じで行われていたかみたいなのが、終わったあととかに紹介された機会ってあったっけなっていうのがありまして、実際どうだったかって社協はいつもスライドとかで見せていただいて、すごく内容が分かりやすいと思うのですが、こういった団体も実際に行って活動とかがビジュアル的にわかりやすくなっていたりすると、例えば、連続して応募されてた方も昨年こんな感じですごく盛況だったりとか効果があったから次の年とかにも続ける採択しようかみたいな、もしかしたらその事前の打ち合わせの中ではあったかもしれないですけれども、ちょっとそのあたりお知らせいただければと思います。以上です。

委員長

事務局の方からお願いします。

事務局

ご質問ありがとうございます。昨年度は、令和 7 年度事業報告書にございますが、同じ 29、たまたま同じ数なのですけれど、29 団体の申請がありました。昨年は、金額は総額で 250 万円の申請で、今年度は 29 団体で総額約 200 万円の申請です。それぞれの団体の収支報告書は事前審査で 3 名の委員に、繰越金や市からの

助成があるかどうか、他の助成金をもらっているかどうか等をみていただいて、こちらの査定額になっております。それと、実施後の報告書はいただいております。実際の活動がどうだったのかというところですけれども、ボランティアセンターとしては、助成金を運営員会で査定していただいて、配布し、報告書をいただくというところまでの業務までを行っております。ただ、個人的にそれぞれのイベントに参加して様子を見ているということは各職員でしているかなと思っていますので、ご意見いただきましたので、紹介できる範囲で活動の内容をこの場で発表できればいいのかなと思います。以上です。

委員長

はい、よろしいですか。

竹村委員

ありがとうございます。もちろんこの場の中での発表もすごく聞きたいと思うところもありますが、せっかくこの素晴らしい活動を皆さんされているのであれば、逆に市内の皆さんにもそういった活動をちゃんとアピールするじゃないですけれども、発表する場としては、ここの中だけよりはむしろ地域の中にというところもあるかなと思います。そのあたりも含めてご検討いただければいいのかなと思います。以上です。

委員長

はい、よろしいですね。分かりました。それはできるだけ今後とも気をつけながらやってまいりたいということでございます。はい、どうぞ。

松嶋委員

これアイデアなのですが、報告書と一緒に、こんなお金いただきました、ありがとうございますじゃないですけど、このお金でこれができましたっていうのを報告義務にしたら、写真とかでこういうのに載せられるのではないかなって今ふと思いました。こっ

ちが行くとお仕事増やしてしまいますし、かといって私たちが分担しましょうっていうと義務化になってしまいますし、うちは来たけど、あそこは来ないみたいになったらまたあれなんで、報告式にしたら手っ取り早いかなと思いました。以上です。

委員長

それはそれでよろしいですね。できるだけ詳しくどういうところに使ったっていうことを改めて報告を求めるということですが、なんか事務局からございますか。

事務局

はい、報告いただいている団体の写真とかチラシなど添付している団体もありますので、多くの団体にそのような詳細な報告書にしていただけるように周知したいと思います。ありがとうございます。

委員長

他にいかがでございましょうか。はい、どうぞ。

益田委員

全体で総額 100 万円の中で 29 団体が分け合うというような形になっているかと思います。募集の段階で 1 団体につき上限 10 万円と明記されているものに対して、これをみると大体皆 10 万円位で申請をされているのかなというふうに思います。特に 1 回目の方なんかは 10 万円もらえるのだろうと思って申請しているのだろうと思うのですが、それを分け合う形で 3 万円だったり 2 万円になったりとかしているところで、先ほどご意見あったように、10 万円もらえるつもりで 2 万円しか出なかったら開催自体が危ぶまれるような内容もあったりもするのかなと思います。なので、募集開始のこのチラシの中で上限 10 万円ってこれだけの書き方だと結構、誤解も招くのではないかなと私は思ったのですが、そのあたりはいかがですかね。

委員長

いや、上限金額、一応とりあえずは金額のめどもつけた方がいいということで、とりあえず上限 10 万円ということにして今までしていたのですが、なんか工夫の余地ありますかね。

益田委員

なんていうのですかね、募集の中で総額 100 万円ということで、それは必要なんだろうなと思うのですよ、これを飛び越えることはできないので。ただその事業内容によって査定額が 10 万円に満たない場合もあるということは明記しておいた方がいいのではないかとは思うのですが。

委員長

それは言わなくても分かっていると思うのですが、明記しますかね。

益田委員

分かりますかね。

委員長

上限というのは分かっているのだと思うのです。

益田委員

1 回目の方とかは分からない。

委員長

それの方が丁寧だということですかね。事務局、いかがでしょうか。

事務局

ご意見ありがとうございます。持ち帰りまして事務局で貴重なご意見として検討させていただきたいと思います。

委員長

はい、どうぞ。

加藤委員

これに関連してなのですが、そこに事業額掛ける（×）48％と書いてあるのは、これは申請した金額の 48％ぐらいが大体いただける金額なのかなと思って見ていたのですけれども、そういうことではないのですかね。

事務局

事務局から回答します。査定するに当たっての参考の数字という意味で、48％ぐらいにすると総額の 100 万円に大体収まるという意味の参考の数字なので、査定の段階での参考の数字です。

委員長

よろしいでしょうか。申し込みによって、それを個別に審査するということで。益子委員、何か？

益子委員

益子です。先ほどの金額の件のところで、どこの助成金だったか忘れたのですが、

平均で昨年はいくらだったよということを明記している助成金も見たことがあるなと思ったので。それは中央値にするのか、平均値にするのかとはあるのですが、何かの参考になればいいなと思って話してみました。以上です。

委員長

はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。では、とりあえずはこれに対する質疑を終了して、ご審議いただいたとおり令和８年度さくらファンド助成団体及び査定額を選考結果とさせていただきたいと思います。

議題４　令和８年度事業の進捗状況について

委員長

次に、令和８年度事業の進捗状況について、事務局よりお願い致します。

事務局

はい、議題４とありますA3の折り畳んでいる資料をご確認ください。小金井ボランティア・市民活動センター　令和８年度の事業進捗状況を申し上げます。いくつか後ほどパワーポイントで説明するものもございますので、要点をかいつまんでご説明します。運営委員会の設置、左上の項目にありますが、右側の実施状況を読み上げます。本日７月29日、また、12月と３月に実施予定としております。

次の段にいきまして、相談窓口の設置。４月から６月末時点での相談件数は79件です。相談一覧を添付しております。後ほどご紹介させていただきます。

次の段にいきます。市民活動助成金の実施。先ほどご審議いただきましたさくらファンド、５月１日から29日で申請受付を実施し、29団体の申請がありました。

次の段にいきます。団体交流会の実施。市内の団体にお声がけし、市民活動の活性化を推進することを目的として実施しています。今年度は10月３日に予定しており

ます。

次の段です。子ども・若者支援事業につきましては、今年の９月、10 月、11 月の３回を予定しております。お手元にカラーの若者支援講座というチラシを配布しております。

機材の貸出。こちらは随時貸し出しております。機材は紙折り機、丁合機、点字板、高齢者疑似体験セットなどがございます。

次の段、ボランティア保険の加入手続き、行事保険の加入手続き。こちらは４月、５月、６月の３ヶ月間でそれぞれ 130 件 792 人、120 件 3，079 人の窓口と申し込みがありました。

次の段にいきます。ぼらんていあこがねいの発行。こちら４月号、５月号、６月号あと７月号が発行済みでお手元に本日配布させていただいております。今は紙での発行のみなのですが、データ版も現在作成中です。

次の段にまいります。IT による情報の発信の実施状況。社協ホームページにボランティア情報を随時掲載中と書かせていただいております。今まで社協ホームページとボラセンのホームページと別々にございました。ボラセンのホームページにつきましては、今までの運営委員会でも話題、議題に上がりましたが、セキュリティの面で継続していくのが難しく、社協ホームページの方に統一して内容を充実させております。ボラセンのホームページと Facebook ですね。SNS については、インスタ開設の件ですが、プロジェクトチームを社協で作りまして要項やマニュアルを只今、作成している最中です。社協のホームページにつきましては後ほどパワーポイントでご案内したいと思っております。

次の段にいきます。夏のボランティァ体験学習です。事前説明会を６月と７月、２回実施しています。受け入れ団体施設は 36 団体にご協力いただいています。感謝申し上げます。7 月 18 日から受け入れが始まっておりまして、子どもたちが各施設でボランティア活動を実施しております。本日時点でボランティアの申し込みは、143 と記載があるのですが、152 人のボランティア申し込みがあります。

次の段に参ります。発達障害啓発事業、こちらは 11 月から 12 月頃に実施予定とありますが、12 月 22 日実施予定で講師選定を進めております。

次の段、小金井福祉マルシェ。こちらは 11 月 28 日に実施予定です。社会福祉協

議会のこの建物の隣の駐車場にて実施します。

裏面をご覧ください。ボランティァ入門講座です。こちらは年 4 回開催しております。4 月、7 月が終わったところで、あとは 10 月、1 月を予定しています。すべて同内容です。後ほどパワーポイントでご説明します。

次の段、精神保健福祉ボランティア養成講座。こちらは 12 月から 1 月にかけて全 4 回で実施予定です。

次の段、療法的音楽ボランティア養成講座は小金井市からの委託事業です。こちらも 11 月から 12 月にかけて全 4 回で実施予定です。

次の段、市民協働支援センター準備室との連携。後ほど別紙にてご報告申し上げます。

次、2 番の地域福祉活動推進事業に関する計画に参ります。地域福祉活動推進事業は、福祉総合相談窓口、社協の中にある福祉相談窓口の CSW 地域福祉コーディネーターとの月例会議を開催しております。

次、ふれあい・いきいきサロン助成事業。こちらはサロン、市内の登録団体が 42 団体です。助成金申請が 29 団体あります。活動状況を広報誌や社協ホームページで掲載中です。後ほどパワーポイントでもご案内したいと思います。

次の段、教育機関等への協力と連携。こちら小金井第一小学校より依頼がありまして、2 学期実施予定です。またこちらに記載がございませんが、昨日、南中学校の 1 年生の担任の先生からもご連絡いただきまして、9 月に実施したいとのことで、今後打ち合わせを重ねていきます

次の段にいきます。窓口担当員の設置。社協の 2 階活動室を貸し出してボランティア活動を実施しています。7 月 8 日と 15 日に全 2 回のミニ講座、布ぞうりを作ろう、を実施しました。後ほどパワーポイントで説明します。②の入れ歯リサイクル事業や③使用済みインクカートリッジ回収事業も実施しております。

3 番に参ります。大規模災害対策に関する計画。10 月 18 日、小金井市の防災フェスタですね、総合防災訓練に社協として参加予定です。場所は小金井北高校で実施されます。

次の段に参ります。災害ボランティアミーティングの開催や防災に関するネットワー

クの構築です。現在、JC（小金井青年会議所）と災害協定書を協議、作成中です。また、5 月 31 日に梶野公園にて「減災フェスタ」がありまして、ボランティアセンターとして参加してきました。車椅子体験と白杖体験のブースを出店しました。こちらは両方とも当事者の方にもご参加いただきましてブースで活動していただいています。このあとパワーポイントでまた説明します。

《パワーポイントによる説明》

いくつかパワーポイントでご説明申し上げますと言った事業を前方のスクリーンに映し出しますので、ちょっと遠いのですけれどもご確認ください。最初の 2 つは令和 7 年度のものですが、前回の運営委員会後の開催でしたのでこちらでご案内させていただきます。令和 8 年の 3 月 10 日、17 日、24 日で若者支援講座を実施しました。こちら、講師には専門的に若者の生きづらさや困りごとを支援している団体や機関に携わる方にご登壇いただきました。小金井市内にありますグリーフケア支援団体のエッグツリーハウスに1回目ご登壇いただいています。2回目、3回目は都立大学ダイバーシティ推進室の今、委員でいらっしゃる益子先生にご登壇いただきまして、ご縁ができまして運営委員をお願いした次第です。参加者は全3回で延べ51名です。1回目は大切な人を亡くした方たちへの関わり方、2回目は大学の現場から見えた必要な支援、3回目は寄り添うとは何か、支援者としてできること、という内容で講義いただきました。

次に参ります。こちらも令和7年度の事業ですが、3月30日に災害ボランティアミーティングを実施しました。「災害時のトイレと水について考えよう」というタイトルで東日本大震災、能登半島での避難所にボランティアで支援に駆けつけたニッポー設備災害支援隊の代表者の方にご登壇いただきました。下の写真は携帯トイレを実際に使ってみようということで、携帯トイレ3種類を実際に開いて水を入れて使っている様子です。参加者30人のところ34人の申し込みがありまして大変賑わいました。

ここからは令和8年度の進捗状況をご説明します。先ほどお伝えしましたが、5月31日の梶野公園での減災フェスタの様子です。車椅子体験及び白杖体験を実施しました。両方とも当事者の方にボランテイアとして来ていただき、また、案内やガイドもボランティアの方にご協力いただきまして、大変盛り上がりました。

次に防災授業です。6月26日に、小金井市内にあります学芸大附属中学校の1年生から依頼がありまして、防災学習を実施してきました。災害が発生したときに中学生の皆さんに何ができるかというタイトルでご依頼ありましたので講座を実施しました。

現在実施中の夏のボランティア体験です。2回の事前説明会を実施して、南中学校の未来塾、放課後の子どもたちの集まる居場所の担当の方から南中に来て説明会を実施してほしいということで、訪問してボランティア説明会を実施しました。受け入れ施設は昨年より2団体増えまして、36団体、現在152人の参加申し込みがあります。先週から活動が開始しまして、来月25日には報告会を予定しております。

次にボランティア入門講座です。

事務局

ボランティア入門講座、今年度は4月、7月、10月、1月と4回実施します。昨年度は、1回の開催で開催していたのですが、ボランティアをしたいという相談に来る方に対して、最初のフォローが適宜できるようにと年4回、4月と7月はもう開催しましたが、ボランティアとは何かというボランティア初めての方などに基本的な講座を実施しています。

次に、布ぞうりを作ってみようという活動、ミニ講座を開催しました。7 月 8 日と 15 日に連続で 2 回講座を開催しました。小金井社会福祉協議会 2 階活動室でボランテイアが実施して、参加者は 5 名集まりまして布ぞうりを皆さんで作って、写真のように布ぞうりを作ろうという講座を開催しました。

ふれあい・いきいきサロン。42 団体が登録されています。うち助成金申請団体は 29 団体となっています。私たち職員がサロンに訪問したり、訪問して近況であったり情報の提供を行っています。社会福祉協議会のホームページやぼらんてぃあこがないなどの広報誌に掲載して、写真のように歌を歌ったり体操を行ったりしているサロンを掲載しています。

事務局

相談は令和８年４月から６月で 79 件です。いくつかピックアップして、後ほど電気をつけたときにご紹介します。

ホームページについては、先ほど申し上げましたが、小金井市社協ホームページ内に統合して情報を充実させました。後ほどご紹介します。

今後の予定です。今年度９月、10 月、11 月にまた若者支援講座を実施します。10 月３日に団体交流会、10 月 18 日に市の防災フェスタに参加します。10 月 25 日に梶野公園祭りに出店予定です。11 月 28 日は社協の駐車場でマルシェを実施します。また、講座を、療法的音楽ボランティア養成講座を全４回、精神保健福祉ボランティア養成講座も全４回実施予定です。今後の予定は以上になります。

ホームページのご案内をさせていただきます。小金井市社会福祉協議会のホームページです。今までボラセンの情報はこちらにはなかったのですが、充実させております。小金井ボランティア・市民活動支援センターの事業案内としてボランティア・市民活動関連のところを開けますと、ボランティア保険のことやサロンのこと、助成金のこと等載っています。ボランティアを募集したい団体向けの案内と、あとボランティアを始めたい方のご連絡も多くありますので、募集中のボランティア情報が一覧で見られるように、こちらに掲載しております。これからも情報を集約して充実したホームページにしていきたいと思っております。令和8年度の進捗状況についての説明は以上になります。

委員長

はい、ありがとうございました。只今の事業の進捗状況について、何かご質問、ご意見があればいただきたいと思います。いかがでございましょうか。はい、どうぞ。

榎本委員

はい、東ボラの榎本です。ちょっと質問なのですけれども、夏ボラが申込者が去年より大分多そうだなっていうところで、先ほどの中学校に説明会に行ったという話もあったかと思うのですが、増えた理由というか、これかもというのがあるのか、あるいはどっかの中学校で大量に宿題出ているとか、そういう傾向みたいなのが見えてるの

かなってと言うのが一点と、もう一点、私たちも悩ましいなといつも思っているのが、夏ボラにいっぱい来てくれるのだけれども、その後の受け皿だったりとか、その後の紹介っていうのが結構なかなか難しいところがあったりして、参加者に、今度、例えば福祉マルシェあるよとか、そういう案内とか、こんなボランティアあるよみたい案内みたいのをされる予定はありますかみたいなところをちょっと聞きたいなと思いました。お願いします。

事務局

ありがとうございます。夏のボランティア体験、南中で昨年も実施したのですが、昨年は7、8人だったのですが、今年30名くらいの参加者がありました。チラシを今年はカラーにしたのでその点が功を奏したかなと思います。

相談一覧の説明をいくつか申し上げます。ボランティアが宿題になっていますという高校が実際にあったり、あとは単位取得のためにやりたいとか、あとは受験で内申で書けるからやりたいと親から連絡があったり、昨年からそんな声が聞こえてきています。今年はさらに多いので、そういったこと相談数増加に影響しているのかなと思っています。

2つめのご質問ですが、ボランティアをしたいという方に何を紹介しているかということで、角田の方からも説明がありましたが、入門講座を年4回に増やしたので、適宜、ボランティアを始めたいのであれば入門講座を企画していますので、まずそちらに参加してボランティアの第一歩の説明を聞いてみませんかというご案内をしております。あと、おっしゃっていただいたように、適宜、イベント、福祉マルシェとか、あとは梶野公園の防災祭りとか、そういったことに、近ければそちらに参加してはどうですかという案内はしています。以上です。夏ボラの参加者には入門講座の案内はしていないです。入門講座は大人の方が多いですね。夏ボラが終わった人には、子どもはやはり夏休みしかできないことが多いのですが、続けてやりたいという方には、施設と調整をしてやることもできますというご案内はしています。以上です。

委員長

はい、どうぞ。

森田委員

数日来、夏ボラの子どもたちを受け入れてきているのですが、年々希望者は増えていて、先日、ファイルを整理していましたら、当時、姉妹で参加した子どもが今、妹の方がうちの職員になっていまして。その後の文集なんかでも読んでいますと、この体験を今後も生かしていきたいです、なんて文集に書いていた子が今、福祉を学ぶために大学に行って、時折立ち寄るのですけれども、やっぱりそういうふうにつながっていけるように丁寧に受け入れていきたいと思っています。ただ、今、八下田さんもおっしゃっていましたけど、年々、親御さんからの問い合わせで、まずそのときには、せっかくの機会なので、もう6年生ですね、自分で電話を掛けてもらいたいと思いますのでそう伝えてもらえますかと伝えるのですが、そうなると2倍の量の電話がそれぞれかかってくるのですよね。それ以外にも、そちらではこういう日程だったけれども、うちの子はその日程では参加できないから、もうちょっと別日を増やしてもらえないか等々。なかなか他の施設とかはどうしているのかななんて思いながらも、できるだけそういった問い合わせに対して丁寧に対応していきたいと思っております。

委員長

はい、ありがとうございました。他にいかがでございましょうか。はい、どうぞ。

竹村委員

はい、委員の竹村です。毎回ホームページのことで大変恐縮なんですけれども、今回、統合されたということで、多分、これから充実していくのだろうなと思って見ていたのですけれども、例えば、ボランティアの方とかも、今もう常にアナログだったりとか、チラシだったり、紹介とかだったりで、もうたくさん来ていると思うのですけれども、例えば、このホームページ上からっていうふうにした時に、今までのボランティア、今もたまたまちょうど最初のトピックのところにボランティア募集っていうのが記事としてあるのですが、そこをクリックしたら、また次にボランティア募集を追加しましたって記事にいったので、さらにそこからクリックしないと行かないというのが、ちょっと動線として気になりましたので。あと、1個押すごとに別タブで開いちゃうみたいなところが

ちょっと挙動的に少し見づらさがあったりするので、そういう細々としたところだったりとか、例えば、ボランティ募集とかも、トップページの黄色い右側のメニューの、例えば、地域福祉計画とか福祉小金井とかの括りにもボランティア募集とあってもいいのではないかと思いました。これから色々とブラッシュアップされていくのだと思いますが、ちょっと気になった点だけお伝えさせていただきました。以上です。

委員長

はい、ありがとうございました。はい、他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは私の方から一点というか、早速ですけれども、今度の熊本大地震でやっぱり改めて災害対策、災害ボランティアの役割の重要性というのを教えてくれたような気がします。今後ともさらに災害関係のボランティア養成を社協としてもさらに充実をお願いしたいと思います。

他にありませんでしたら、次の最後の議題に移りたいと思います。

事務局

ホッチキスで留めてある A4 横の相談一覧、3ヶ月で79件来ていますが、5点ほどピックアップして紹介させていただきます。ナンバー16、4月17日の相談です。夏ボラ受け入れ先の施設からの相談です。性犯罪履歴・・・の件はどう対応したらよいか。こちら、日本版 DBS（犯罪証明管理および発行システム）の件で、子ども性暴力防止法の件で、お問い合わせをいただきました。2026年、本年12月25日以降の実施なので、詳細分かり次第、来年夏より対応予定です、と返事をしております。こちら、ボランティアのマッチング時に対応していくことになるかと思われますので、私たちボランティアセンターも引き続き情報収集に努めて、来年の夏ボラの際にはきちんと体制を整えていきたいと思っております。

次、23番。ご説明申し上げます。4月23日に希望で、中学2年生の女性から私立学校の文化祭でレモネードスタンドジャパンへの寄付活動をしたい、事前に地域で練習をやってみたいが、どうしたらよいかというお問い合わせをいただきました。4月23日にご相談いただいて、社協に来ていただいて、小金井市内でまろん食堂とかののか

めとか、市内でイベントをやっているところをご紹介し、代表の方につないでいます。実際、6月に市内のまろん食堂でレモネードを販売して寄付をされております。中学生からボランティアの相談があり、地域の資源につなげられた事例としてご紹介致しました。

次、41番。5月21日の相談について取り上げてみたいと思います。市内の方からのお電話で、電話で傾聴ボランティアをしてほしいというご希望です。体調面が不安定なため来てもらうことは希望しないんですというお問い合わせがありました。こちらで、介護福祉課の友愛活動というものがありますので、そちらを紹介しました。小金井市の方でやっていらっしゃる事業です。申し込みはご本人でなくケアマネでも可能ですというご説明と、65歳以上の一人暮らしが対象となっていますというご説明をして、対象の方だったのでケアマネに相談しますということで終了しております。

あと2つ。45番をご覧ください。5月22日のご連絡です。高校生のお母様から電話ありまして、受験のためにボランティアをさせたいというご連絡でした。先ほど森田委員からもありましたが、本当にお母さんから連絡が来た事例です。後日、ご本人から電話をもらって来所していただいて面談をしました。5月だったので、学生には夏のボランティアを勧めていることが多いので、夏のボランティアの事前説明会のご案内をしております。

関連しまして、30番に戻りますが、高三の女性から電話がありました。5月1日です。ボランティアしたい、240単位が必要です、単位取得のための証明書も欲しいというご依頼でした。240時間って相当数ですよねとご説明したのですが、240時間必ずやることを私たちがお手伝いすることは難しいので、5月1日の近くにあったイベントでボランティア募集していたものを紹介し、あとは夏のボランティアを紹介しております。

このような現状があるということの一例でご案内申し上げました。以上です。

委員長

よろしいでしょうか、只今の報告について。

議題5　市民協働支援センター準備室の活動状況等について

委員長

それでは、議題5の市民協働支援センター準備室の活動状況等について事務局よりお願い致します。

センター準備室

はい、ありがとうございます。市民協働支援センター準備室の活動報告について北脇より報告させていただきます。準備室は、平成20年2月策定の小金井市協働推進基本方針に基づいて、市民活動団体と行政、また、市民活動団体間の協働に関して、ご覧の7業務を行っております。これらの業務について、令和8年4月から6月分の報告を本日はさせていただきます。

こちらの1ページ目になりますが、相談・コーディネートのトピックスとして主だったものだけを書いております。こちらの説明をさせていただきます。まず、トピックスの4月のところ、団体設立にあたり他団体の紹介ということがありますが、こちらはどういったことかといいますと、お子さんが重度障害児で、現在、学校に行ってらっしゃっていて、就労支援の施設を地域で立ち上げて、将来子どもたちが生き生きと暮らせる施設を小金井市で作りたいということで検討されているという方でした。地元に根付いた施設ということで、今ある団体の方のお話を聞き、一緒に何かできないか、あとはボランティアとして中に入ってこれからどうするかを考えていきたいということでしたので、仲介のお手伝いをさせていただきます。次に行きます。5月、知的障害児、思春期のお悩み相談オンライン座談会になります。こちらは子育てに一段落ついた先輩ママからの発案でした。同じ悩みを持った者同士、集まりながらほっと一息して欲しいということで、オンライン上での集まりを企画したいということで相談に来られました。団体として、初めての団体設立でしたので、企画の相談、立ち上げの仕方、広報の仕方などの相談に乗りまして、実際に実施が決まりました。開催告知先として、対象者がいるであろう放課後ディ、就労支援施設で市内の協力的な事業者をいくつか紹介させていただきました。現在も月1回程度オンライン上での開催をしております。同じく5月。市民活動団体の情報提供。こちらは地域とのつながりのある学問をされている大

学の先生が窓口に来られまして、遠方から小金井に引っ越してきました、小金井の現状が知りたいということで、窓口でお話しされていました。団体リストや広報誌、あとは準備室のブログなどにも地域の情報が載っていますので、そういったものをいくつか紹介させていただきました。ちょうど近い日に梶野公園で減災フェスタがありました。そこにボランティアセンターの職員の八下田が参加しておりましたので、せっかくなのでそちらいかがですかということでお繋ぎしまして、実際の市民活動団体と繋がりながら楽しみながら交流を図っていただきました。小金井のこと、最初の印象からとても良くなったということでお礼のメールもいただきまして、いい時間を過ごしていただいたようでした。6月、こちら学習支援団体について。こちらは行政からの相談でした。中学生のお子さんが窓口に来られまし手、塾以外で勉強を教えてくれるところはないかという相談をされたそうです。相談を受けた方は相談専門員ではなく、近いところにいる方なのですが、普段そういった相談を気軽に受けている感じではなかったのですが、お話を聞きまして、まだ今回子どもの情報がとても少なくて、そうは言っても実際に何を求めているのかがちょっと分からないような状態で、私の方でも電話を受けたときに色々お話を聞いたのですが、やはり間に人を通してですのでうまく会話ができず、一応こちらとの方としては中学生の居場所や学習支援団体、あとは学校で未来塾等もあります、あと公民館などで一人勉強できる場所も今、確保されておりますので、そういったことをお伝えしました。ただ子どもにどのくらい伝えていただいたかどうか分からないので、是非お子さんも社協に来て相談できるような周知が図れるといいなと思いました。6月にもう一つあります。災害備品の寄付打診について。こちらは、準備室では団体間の仲介として物の寄付に対し欲しい団体がいるようでしたら紹介するという内容でした。団体の方とはお会いしたときに、今、団体の課題ですとか困りごと、欲しいものとか、そういったことを普段から軽く聞くようにしています。こちらの方でこの団体はこういうものがあったら嬉しいのだろうなというのはなんとなく頭に入っています。その中で、お電話いただいたときに、欲しい団体がいればお繋ぎするというような形をとっております。このときは大鍋と鉄板のお話でした。まだ手元には届いていないということだったのですが、これから多めに届く予定で、自分たちが抜いたあとに余った物に対して他の欲しい団体いますかという相談でした。こちらでいくつか考えて、やはり防災会に繋ぐのが一番良いのではないかということで、まだ現物は来ていないのですが、もし届いたら防災会を中心にお声掛けさせていただこうかなと思っております。トピックスの説明は以上になります。

こちら下の方ですね。相談・コーディネート業務4月、5月、6月が書いてありまして、

実施数で84件。去年より少し増えた状態になっております。次のページに行きます。相談の4月、5月、6月が載っております。資金面の支援、運営面の支援、行政との連携、その他、で合計延べ件数となっておりますが、ご覧の通りとなっております。

2番、情報の収集ということで、団体を訪問してお話聞いたりですとか、先進都市に協働の状況を聞きに行ったりとかしているのですが、4月、5月、6月は出向くというより来てくださる方のお話を聞くことが多いです。やはり春先ですので、これから1年間どうしようかとか、こういうことをやりたいと思っているのだけれどとか、あとは、担当が変わりましたのでということで、お話に来られる方が多くて、私たちが外に出るというよりかは、座っていて相談の申し込みが入るのを待つという形がこの時期は多くなります。

3番、情報の発信ということで、毎月、ぼらんていあこがねい、皆様のお手元にあると思いますが、そちらに「市民協働応援ニュース」の場所を設けまして、関連する話題や準備室の状況などを掲載させていただいております。2番目、ブログのところですね。こちらは4月、5月、6月の掲載件数とアクセス数が載っております。5月が異様に伸びているのですが、私たちも聞かれると思って調べたのですが、どうしてこれだけ伸びたのかちょっと分からず、SNS の拡散力で多分リツイートでいったのかなと思いながら見ていました。

次4番です。市民協働の推進ということで、コミュニティ文化課とのミーティング。こちらは電話やメール、あとは直接顔を合わせながら随時情報共有しつつ協働の推進に努めております。2番、こちら各種会合・行事等への参加・協力です。こちらは、例年にはなりますが、福祉 NPO 法人連絡会、NPO 法人連絡会に今年も参加していく所存でございます。

5番、市民活動団体リストの管理。こちら、5月1日更新版発行に向けて、編集作業中です。

それ以外に、行政の協力。こちらは8月から始まります NPO 法人派遣研修です。こちらは行政の方が NPO 法人にお邪魔して研修を受けさせていただく、こういったことにもマッチングのお手伝いなどをさせていただいております。

最後にその他の欄になります。こちらは子ども食堂連絡会のメーリングリストになりまして、全国的な NPO 法人むすびえからの連絡を載せることが多いです。子ども食堂の立ち上げですとか、皆さんが知りたい助成金情報、あとは小さな勉強会など、そ

ういった情報を意識して載せるようにしております。あとは、もう一つのメーリングリストの子育て・子育ちメーリングリストもありますので、そちらの方にも子育て関連、助成金関連の勉強会、そういったものを意識的に送信していこうと考えております。

それではこれで本年度4月から6月までの活動報告終わります。

委員長

ありがとうございました。只今の市民協働支援センター準備室の活動状況について何かご質問ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

議題 6　その他

委員長

それでは議題6、その他に入ります。榎本委員よりお願いいたします。

榎本委員

終了時間も迫っているところですが、最後にちょっと紹介させてください。皆さんにカラー、ホッチキス止めの資料を別途お渡しさせていただいているのですが、この白黒の印刷のものの内容は同じものになっています。2026年度区市町村ボランティア・市民活動センター運営委員、皆さんのことですね、運営委員の皆さんとセンター長の皆さんをお誘いしている合同会議の開催になります。実は今年度は担当が榎本でして、是非皆さんに応援に駆けつけていただきたいと思っておりますので、9月10日の予定も今から書き込んでおいて欲しいなと思います。こちらなのですが、都内の各地で、小金井以外にも運営委員会を持っている社協がいくつかあるのですが、そういったところの運営委員に集まっていただいて、交流・情報交換を図るというのをやっております。以前、竹村委員には登壇していただいたこともあったかなと思います。今年度は千代田で開催になります。9月10日です。会議は1時半から5時なのですが、その前にオプションプログラムという形でオプションツアーが10時から12時45分

までありまして、ここでは児童発達支援・放課後等ディサービスぴかいちというところに行くのですが、ここの上の方が運営と千代田のボラセンの運営委員をやっていたりしています。あとは、高齢者福祉施設のジロールというところでやっているカフェを見学したりだとか、そういったところの見学があったりとか、5時半からの情報交換会は楽しい飲み会ですので、是非そちらも来ていただけると嬉しいなと思っております。大事な会議の方は、パネルディスカッションは地域のつながりづくりに企業や学生等に参加してもらうためには、というところで、千代田は特に企業が多かったりとか学校があったりというところではあるのですが、その中でもやはりつながりづくりというところで、どうやって参加してもらうかというところ、色々考えてやられているというところもあるので、千代田で運営委員をやられている町会の方だったりとか団体の方だったりとかに来ていただいて、どうしているのかというところ、地域にどうやって理解を得ていくのかというところをみんなで話していきたいなと思っています。皆さん是非9月10日、もう申し込み始まっていますので、こちらの QR コードから是非お申し込みください。お待ちしております。以上です。

委員長

できるだけ参加するようにしましょう。いかがでございましょうか。何か他に、これに対して、只今の報告についてご質問ご意見がありましたら。よろしいでしょうか。はい、森田委員、どうぞ。

森田委員

前に千代田社協の施設見学に行ったことがあります、もう数年前だった思うのですけれども、やはりこのタイトルで色々なアイデアを考えていらっしゃったことを思います。本当に今、この一番上にありますように、ますます複雑・多様化とありますけれども、ここ数年見ていて、ボランティアと若者支援というのですごく絡み合っているというのか、ボランティアと称して実は自分は支援される側ではなくて、あくまで支援者という位置にいたいんだというような思い、でも本当は支援が必要な立場であるというのか、問い合わせの段階からなんとなくそれが感じ取れるので、ここ数年そこに加えて、今度は研究とか卒論ということを理由にしてきて、なんとなく支援が必要であるかなということが分かってきて、それが終わっても、来るように声を掛けたり、アルバイト

に繋がるように何かしら社会に出て行く前のステップとしてここを使っていいんだよということを伝えていくようにしています。本当に複雑に絡み合っているということは実感します。

委員長

はい、ありがとうございました。他にいかがでしょうか。本日の全体を振り返っても結構ですけれども、何かございましたら最後にいただきたいと思います。行政の方から何か他に伝えたいことございますでしょうか。

香川委員

大丈夫です。

委員長

それでは本日はこれで終わらせていただきたいと思います。どうもご苦労様でございました。相談一覧の資料だけは机の上に置いていただけますと助かります。お願いします。

《閉会》

以下　余白